



愛のひだまりの中で心豊かに育つ ひだまり便り

社会福祉法人温和会 ひだまり認定こども園 園長 阿嘉禎貴



若葉が清々しい季節となりました。入園進級から1ヶ月が経ち、表情も少しずつ和らいできました。好奇心を膨らませながら保育園のあちこちで楽しいことを探し出し、笑い声が聞こえてくるようになりました。子ども達は、友だちと関りの中で楽しんだり、時にはけんかをし、自己主張し、我慢をしながら体と共に心も育っていきます。

また、この時期は疲れが出始める頃です。お腹をこわしたり、熱がでたりと体調を崩すことが心配されます。十分に休息をとり、夜は早めに就寝するようにしましょう。

保育目標

- ◎ 集団生活の楽しさを味わい、園生活になれる
- ◎ 園生活に必要な決まりや、基本的な生活習慣を身につける。



5月の行事予定



- 3日(日): 憲法記念日
- 4日(月): みどりの日(休園)
- 5日(火): 子どもの日(休園)
- 6日(水): 振替休日(休園)



- 11日(日): 母の日
- 14日(水): 火災避難訓練映写会
- 20日(水): 火災避難訓練
- 28日(木): 誕生会(弁当持参)



こいのぼり掲揚式

♪屋根より高い鯉の一ぼーりー♪

さった4/22にこいのぼり掲揚式を行いました。

こいのぼりの大型紙芝居を見た後にみんなで大きなこいのぼりを上げました！

母の日にちなんで

社会福祉法人温和会 理事長 阿嘉よね子



母の日にちなんで、どうしても我が母のことを書きたく、ペンを執りました。

幼い頃から、母は子育てや教育についてよく語っていました。背中におぶわれていた頃から、「赤ん坊は母親の背中中の体温でぬくもりを感じ、安心する心を育てるのよ。母親の手の動きや周りの景色を見ながら、いろいろなことに興味を持つようになるの。だから、おぶってあげることは大切なですよ」と話していた母は、私が27歳の時に他界しました。中でも、食に関して母から教わったことは、今でも忘れることができません。今でいう「食育」に通じる考え方だったのだと思います。母がよく口にしていた言葉があります。「朝はまな板の音で目を覚まし、みその香りで母の愛を知る」料理上手だった母の姿を見て育った私は、自然と手作り料理に励むようになりました。

さらに、私が今も深く心に刻んでいる母の教えがあります。

それは、「子どもたちには、それぞれが自分らしく生きていける力を身につけてほしい。そのために、学ぶことを大切にしてほしい」という言葉です。

母は、学歴そのものだけではなく、「学ぶ姿勢」や「知識を身につけること」が人生を豊かにし、人を支える力になると信じていました。そして、家庭の中で大人が学ぶ姿勢を持つことが、子どもたちにも良い影響を与えていくのだと話していました。もちろん、人の豊かさや価値は学歴だけで決まるものではありません。どんな環境であっても、子どもを思い、懸命に育てる親の愛情こそが、何より大切なのだと思います。母もまた、「学ぶ心」や「人を思いやる心」を大切にしていたのだと、今になって感じています。亡き母の言葉に支えられながら、兄弟もそれぞれ子育てに励み、家族を大切に歩んできました。

天国のお母さん。あなたの教えは、今も私たち家族の中で生き続けています。本当に、感謝しています。